

平成 27 年 7 月 7 日

平成 27 年度 船員教育機関と日本船主協会・内航海運業界との 人材確保・育成に関する懇談会について

当協会（九州地区船主会）と九州地区船員対策連絡協議会（会長：原田勝弘 芙蓉海運（株）社長）は共催で、平成 27 年 7 月 2 日（木）に福岡市において、人材確保・育成に関する懇談会を開催した。当協会からは、鶴丸俊輔 九州地区船主会議長、栗林宏吉 内航委員長、三木孝幸 同副委員長他が参加した。

同懇談会は、若年船員の確保・育成を目的として船員教育機関と内航海運業界との間で率直な意見交換を行うもので、今年で開催で 7 回を数えるとともに、今次懇談会の参加者は 60 名を超え過去最多となった。

会合では、各教育機関から卒業生の海上への就職状況の他、学生の海運に対する意識などについて、海運事業者から新卒船員の採用状況等について報告を行った後、人材の確保育成に関し活発な意見交換が行われた。また、九州運輸局からは、唐津・口之津海上技術学校生および九州・山口の水産系高等学校生を対象とした船員職業意識調査の結果について、報告がなされた。

会議全体を通じ、最近の船員教育機関卒業生の就職率の向上が確認される一方、会社側での人材教育にも限界があるため、船員教育機関の役割に対しより一層期待が高まっていることや、今後の少子化傾向から海運業以外の産業でも人手不足が見込まれ、内航船員という職業に興味を持って貰えるよう広報活動が重要であること、さらに、教育機関と船社側との率直な意見交換を今後も継続的に実施し、双方の立場を理解することが今後の人材確保育成策にとって重要であること、等の認識が共有された。

参加一覧

【教育機関】

水産系高校：

山口県立大津緑洋高等学校、福岡県立水産高等学校、長崎県立鶴洋高等学校、熊本県立天草拓心高等学校、大分県立津久見高等学校海洋科学学校、宮崎県立宮崎海洋高等学校、鹿児島県立鹿児島水産高等学校、沖縄県立沖縄水産高等学校

海上技術学校：

独立行政法人海技教育機構、国立唐津海上技術学校、国立口之津海上技術学校

【内航海運事業者】

日本船主協会

九州地区船主会：鶴丸海運、日本サルヴェージ、ジェネック（アジアパシフィックマリン）、大和汽船

内航委員会：栗林商船、三洋海運、東海運、上野トランステック、

NS ユナイテッド内航海運（二丈海運）、邦洋海運（デュカム）

九州地区船員対策連絡協議会:

芙蓉海運、木村海運、松盛汽船、日向海運、旭海運、松島輸送船、宇部興産海運、青崎海運、
祝林タンカー

九州地方海運組合連合会:

富士海運、霧島海運、丸阿産業、久木山汽船、南国砂利、西瀧海運、栄和産業、

【関係省庁等】

国土交通省九州運輸局、海事振興連盟



▲懇談会の模様

以上